

「すべてのものをすてて、わたしはよみがへる。―大手拓次展」関連イベント朗読会
大手拓次を読む―ここえは あさつゆのきえるけはい



2022年8月20日(土)14時(開場13時30分)

前橋文学館3階ホール

| お申し込み | 7月23日(土)9時から前橋文学館へお電話で(027-235-8011)

| 定員 | 先着50名

| 参加費 | 無料(高校生以上の方は、当日有効の展示観覧券をお持ちください)



「あなたの詩をよむのは 香水のほひを かぐやうな気もちがする。」

萩原朔太郎は、大手拓次の詩をこう表現しました。詩人・大手拓次(安中市出身・1887-1934)は、小林商店(現ライオン株式会社)の文案係(今でいうコピーライター)として働く傍ら、2,400篇余りの詩を創作しました。「薔薇の詩人」と呼ばれるほど数多くの薔薇の詩を創作し、好みの香水を嗅いで詩作を愉しんだといわれています。今回は、地元アイドルユニットあかぎ団の磯干彩香さんと芽部の新井隆人さん、六鹿直さん、NHK杯群馬県高校放送コンテストで優秀な成績を収めた高校生たちと萩原朔美館長が、大手拓次の香しい詩の世界を、声で立ち上がらせます。朗読に合わせて演奏される山屋寿徳さんのピアノもお聴き逃しなく。

「すべてのものをすてて、わたしはよみがへる。―大手拓次展」関連イベント朗読会
大手拓次を読む―こえは あさつゆのきえるけはい



2022年8月20日(土)14時(開場13時30分)

前橋文学館3階ホール

|お申し込み| 7月23日(土)9時から前橋文学館へお電話で(027-235-8011)

|定員| 先着50名

|参加費| 無料(高校生以上の方は、当日有効の展示観覧券をお持ちください)



| 演 目 |

「薔薇の散策」

「よみがへり」

「そよぐ幻影」

「こゑ」

「言葉は魚のやうに歩く」

「腐つた月光」

「蛙の夜」

「夏の夜の薔薇」

「白薔薇の香料」

「恋人のにほひ」

「わたしの側には」

「あなたの側に」

「母韻の秋」

「^{ロンド}輪舞歌 (ポール・フォール)」

| 出 演 |

磯干 彩香 (あかぎ団)

新井 隆人

六鹿 直 (芽部)

山屋 寿徳 (ピアノ奏者)

萩原 朔美 (前橋文学館館長)

《NHK 杯群馬県高校放送コンテスト成績優秀者》

井桁 祭 (桐生高校)

早野 紬希 (共愛学園高校)

本間 ひいろ (前橋東高校)

野口 綾音 (館林女子高校)



萩原朔太郎記念・水と緑と詩のまち

前橋文学館

〒371-0022 群馬県前橋市千代田町三丁目12-10

TEL. 027-235-8011 FAX. 027-235-8512

<https://www.maebashibungakukan.jp/>



前橋文学館ホームページ

<https://www.maebashibungakukan.jp>